

商店街の現状と課題

平成20年12月
中小企業庁商業課

<目 次>

- 1. 商店街の現状・・・・・・・・・・・・・・・・ P2
- 2. 商店街活動の実状・・・・・・・・・・・・ P9
- 3. 地域から商店街に対する期待・・・・・・ P14

1. 商店街の現状

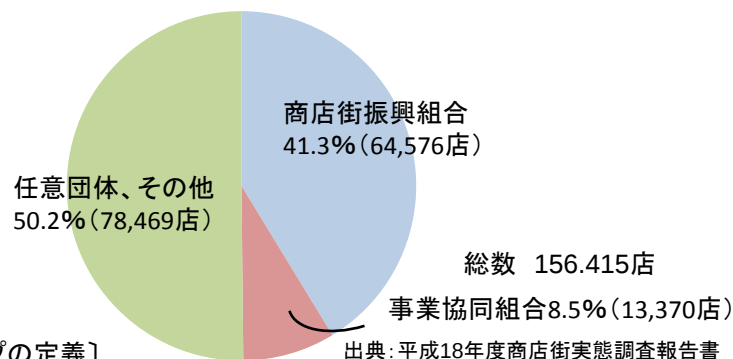
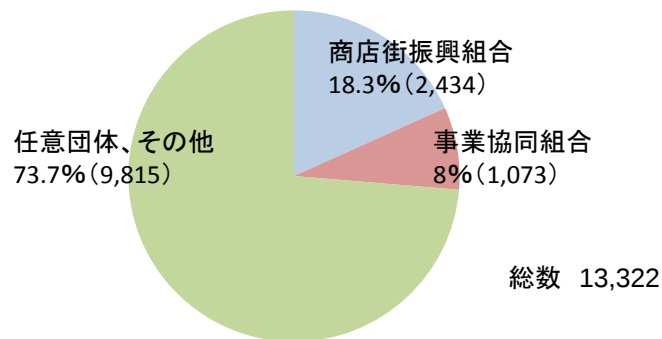
我が国の商店街の構成

○わが国の商店街数は約13,000。

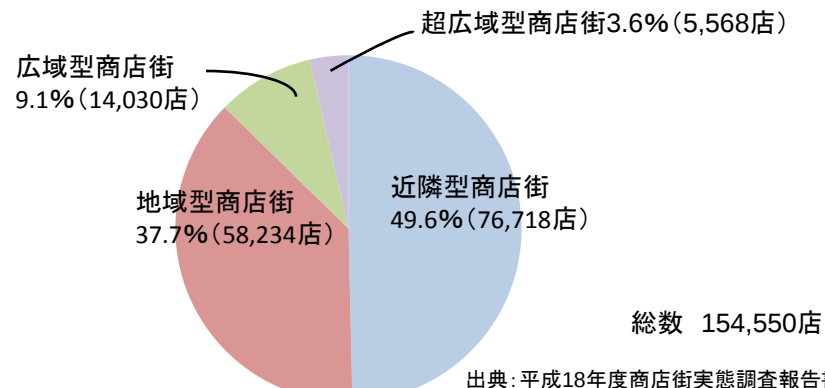
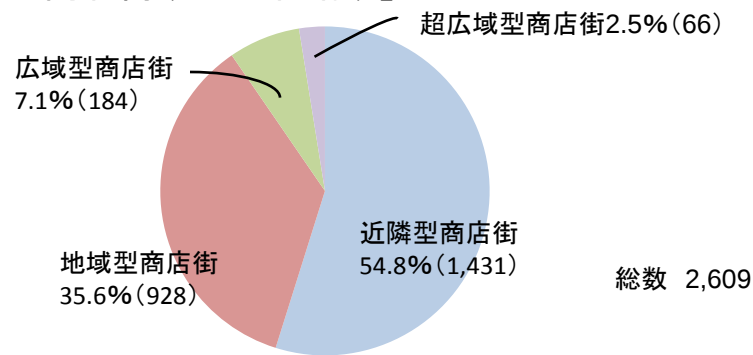
○商店街のうち、商店街振興組合約2,400、事業協同組合1,000、残りは任意団体。

○商店街数のタイプについては、地域住民が日常的に利用する近隣型商店街及びやや広い範囲から住民が利用する地域型商店街が商店街数、店舗数とも約9割を占めている。

【組織別商店街数及び店舗数】



【タイプ別商店街数及び店舗数】



〔商店街タイプの定義〕

出典：平成18年度商店街実態調査報告書

出典：平成18年度商店街実態調査報告書

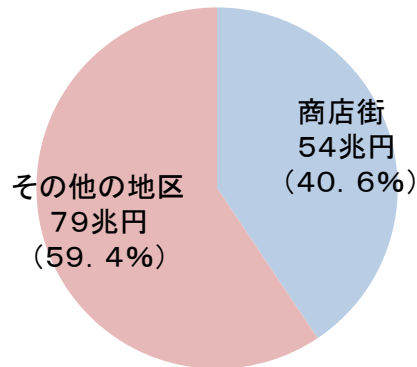
- ◆近隣型商店街：最寄品中心で地元主婦が日用品などを徒歩または自転車などにより日常性の買い物をする商店街
- ◆地域型商店街：最寄品店及び買回り品店が混在し、近隣型商店街よりもやや広い範囲から、徒歩、自転車、バス等で来街する商店街
- ◆広域型商店街：百貨店、量販店などを含む大型店があり、最寄品店より買回り店が多い商店街
- ◆超広域型商店街：百貨店、量販店などを含む大型店があり、有名専門店、高級専門店を中心に構成され、遠距離からの来街者が買い物をする商店街

商店街の経済的位置付け

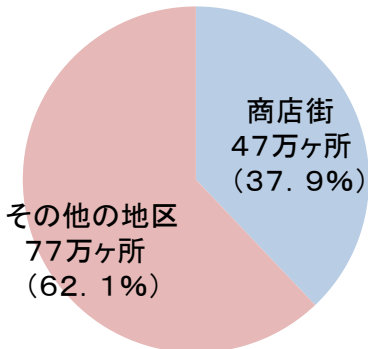
○「年間販売額」、「事業所数」、「従業員数」をみると、小売業全体に占める商店街の割合はそれぞれ4割程度。

○起業家を育む場としても商店街は重要な役割を果たしている。

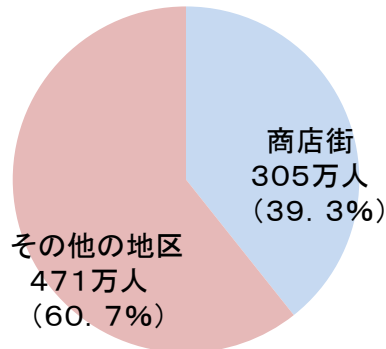
【年間販売額】



【事業所数】



【従業員数】



出所：経済産業省2004年「商業統計」

【商店街での起業に係る取組事業】

奈良県奈良市の事例

もちいどのセンター街協同組合が、起業家向けのインキュベータ施設やチャレンジショップなど、創業・ベンチャーや商業苗床機能に対応した施設を商店街に設置したことにより、地域の新規起業家を育成し、商店街の活力向上を図っている。



北海道江別市の事例

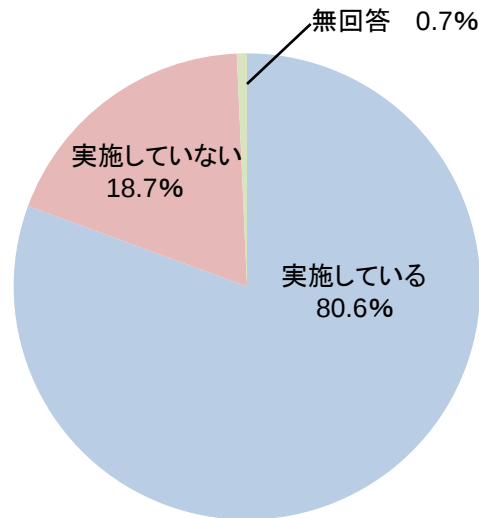
野幌商店街振興組合が、商店街の空き店舗を活用して高齢者の交流、就労の場の提供やチャレンジショップ、また、地産地消商品の企画・販売等を行う「コミュニティ商業賑わい市場」事業を実施し、商店街の活性化を図っている。



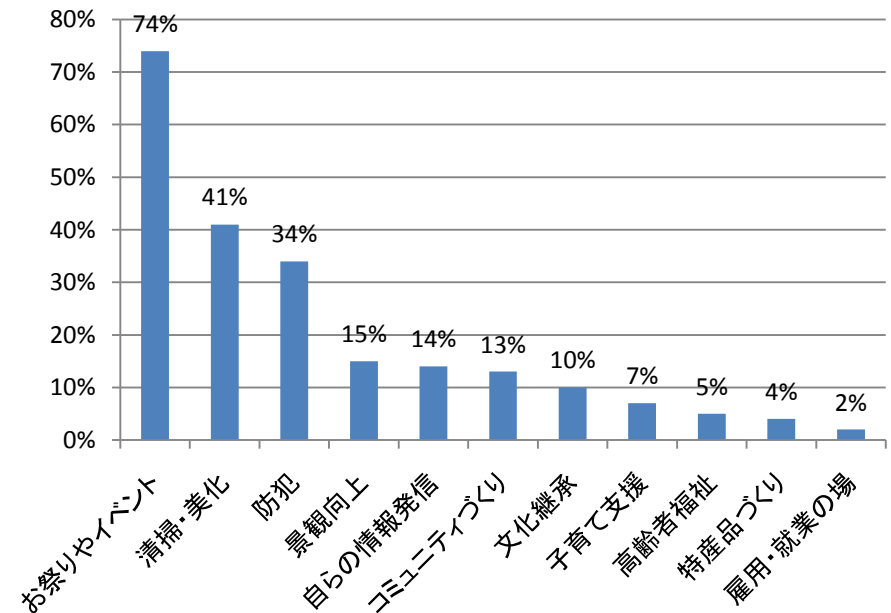
商店街における地域コミュニティ活動

- 商店街の8割は地域の各種団体と連携して地域コミュニティ活動を実施している。
- お祭りやイベントが最も多く、3／4の商店街が実施している。この他、清掃・美化活動や防犯対策に取り組む商店街も多い。

【地域コミュニティ活動の実施状況】



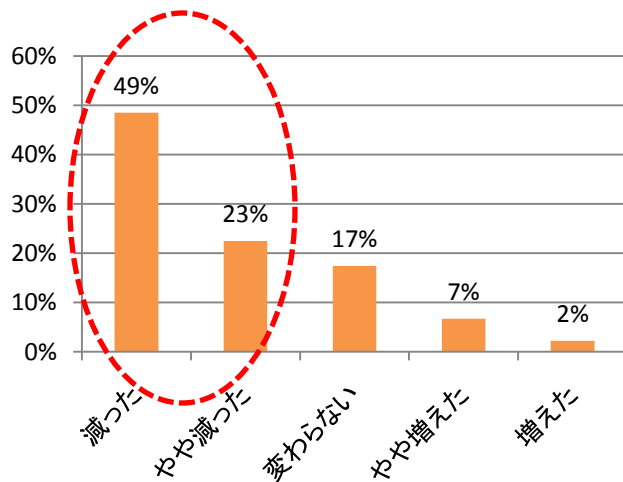
【現在実施している地域コミュニティ活動】



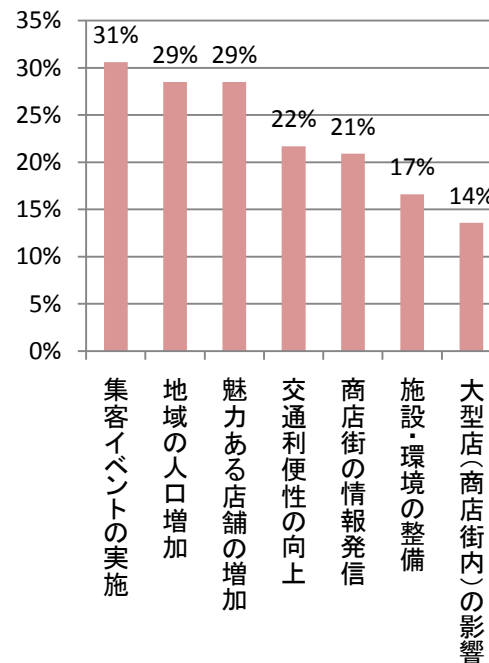
商店街への来街者

- 商店街の来街者については、減少傾向にある商店街が全体の約7割を占める。
- 減少の主な要因は、「郊外の大店の影響」や「魅力ある店舗の減少」、「業種・業態の不足」である。
- 増加の主な要因は、「集客イベントの実施」、「魅力ある店舗の増加」である。

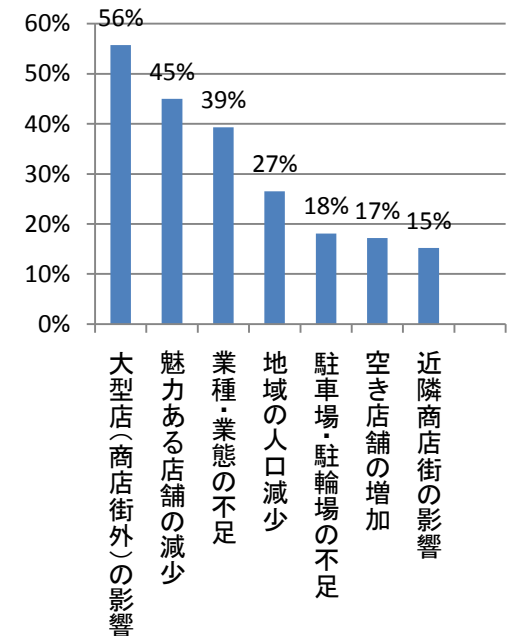
【3年間の来街者の変化】



【増加要因】



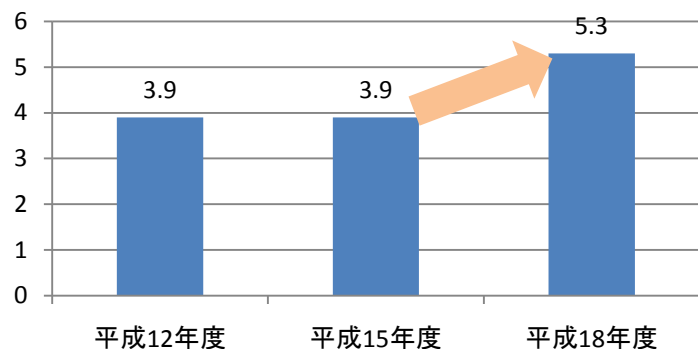
【減少要因】



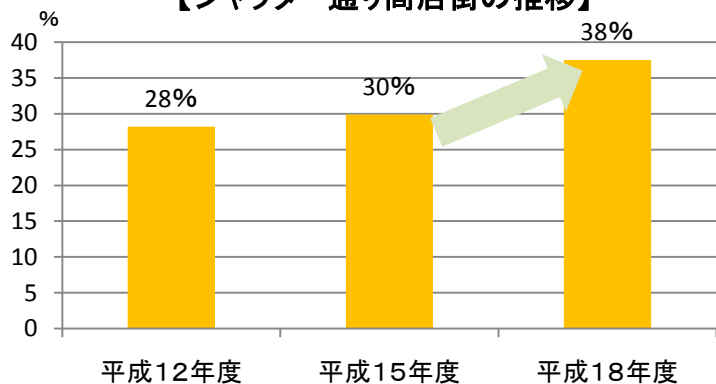
商店街の空き店舗数

- 一商店街当たりの平均空き店舗数は5.3店、平成15年度から18年度の3年間に10%増加しており、空き店舗問題は未だ歯止めのかからない状況が続いている。
- また、シャッター通り商店街は増加傾向。特に、空き店舗数の多い商店街の割合が近年急速に増加。

【平均空き店舗数の推移】



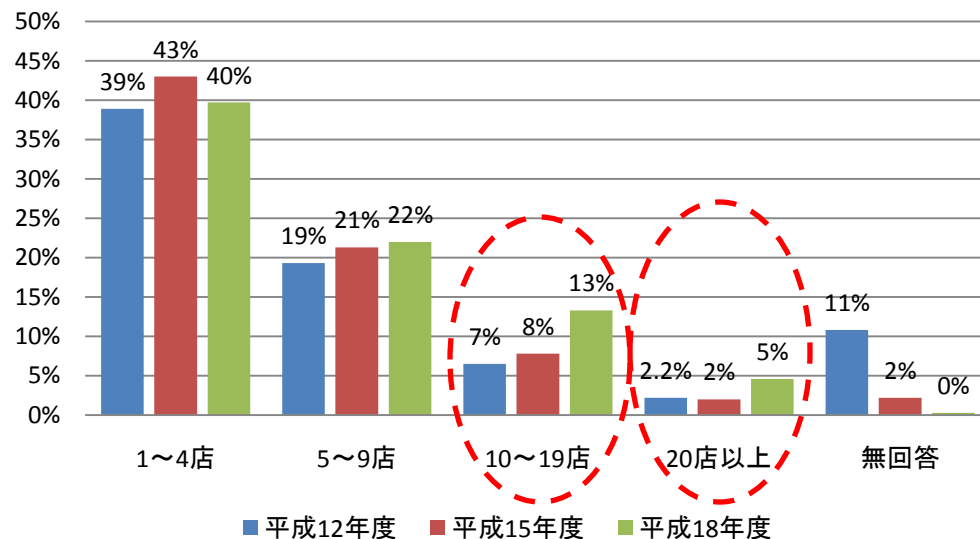
【シャッター通り商店街の推移】



(注) 商店街実態調査報告書で、空き店舗率が10%超のところをシャッター通り商店街と定義した。

出典: 商店街実態調査報告書(平成12、15、18年版)

【商店街での空き店舗数の推移】



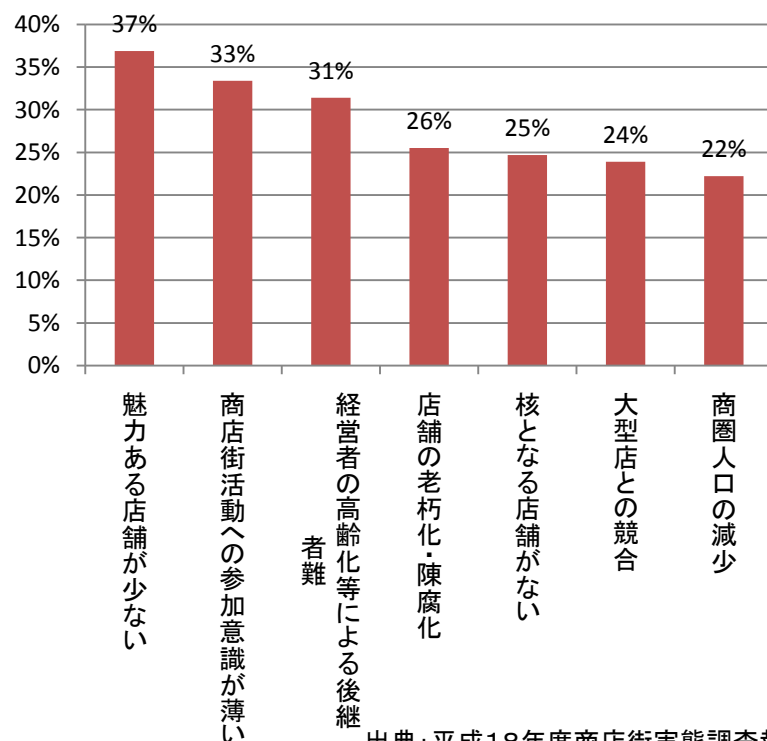
出典: 商店街実態調査報告書(平成12、15、18年度版)

商店街における課題

○商店街における課題は「魅力ある店舗が少ない」との回答が約37%と最も多く、「商店街活動への参加意識が薄い」(約33%)と「経営者の高齢化等による後継者難」(約31%)と続いている。

○過去においては、大型店の影響が大きな課題であったが、近年は、商店街の内部事情が大きな課題。

【商店街の課題】



【商店街の課題の変化】

	最も多かった回答	二番目に多かった回答	三番目に多かった回答
平成7年度	大規模店に客足が取られている。	後継者難	大規模出店ラッシュに押され気味
平成12年度	魅力ある店舗が少ない	大規模店に客足が取られている。	商店街活動への商業者の参加意識が薄い
平成15年度	経営者の高齢化等による後継者難	魅力ある店舗が少ない	商店街活動への商業者の参加意識が薄い
平成18年度	魅力ある店舗が少ない	商店街活動への商業者の参加意識が薄い	経営者の高齢化等による後継者難

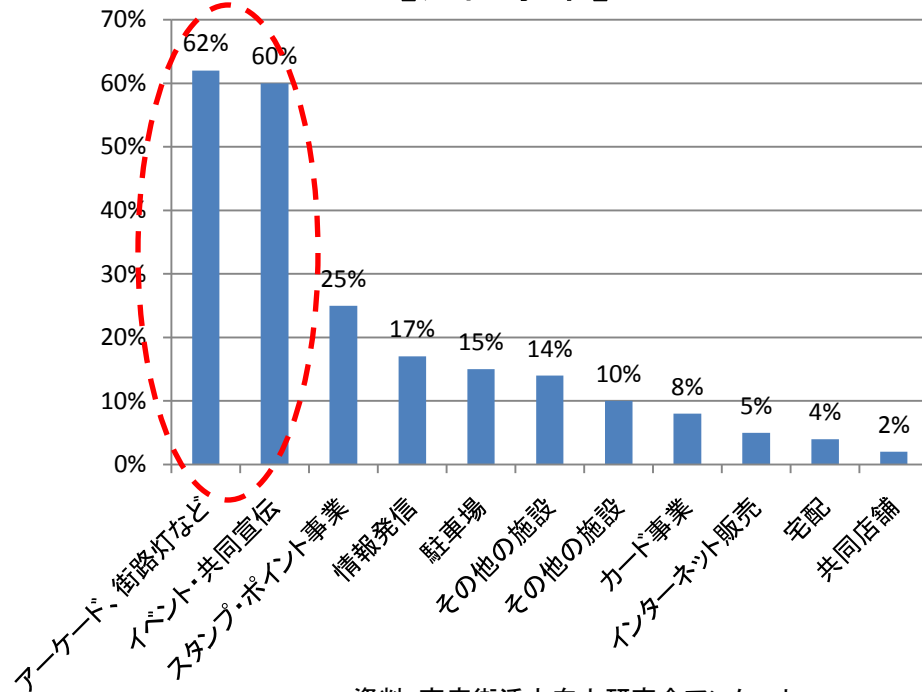
出典：平成18年度商店街実態調査報告書

2. 商店街活動の現状

商店街活動① 活動全般

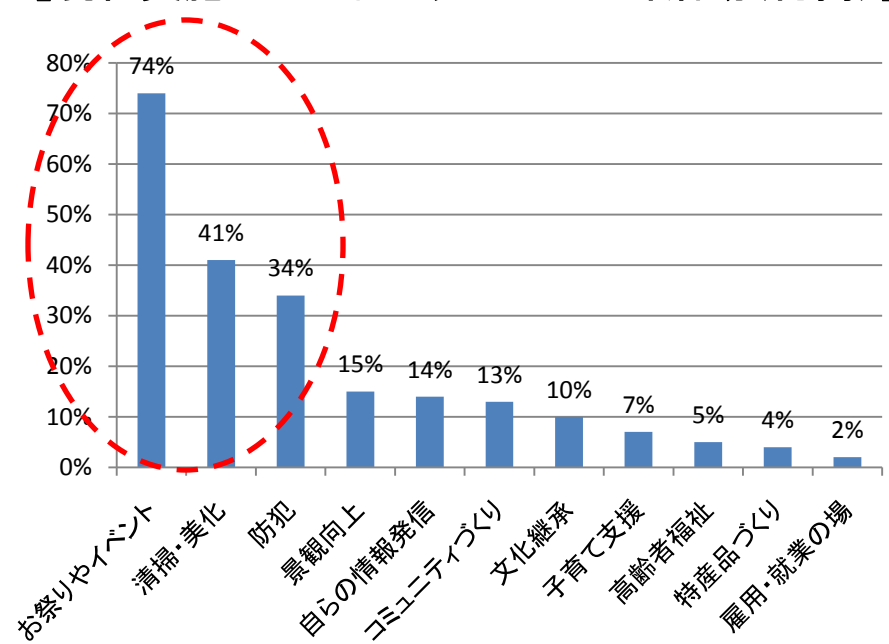
- 共同事業で最も多いのが、「アーケード、街路灯等」のハード整備と「イベント・共同宣伝」のソフト事業。
- 地域コミュニティ活動で多いのが、「お祭りイベント」、「清掃・美化」、「防犯」等の活動。

【共同事業】



資料：商店街活力向上研究会アンケート

【現在実施している地域コミュニティ活動（再掲）】

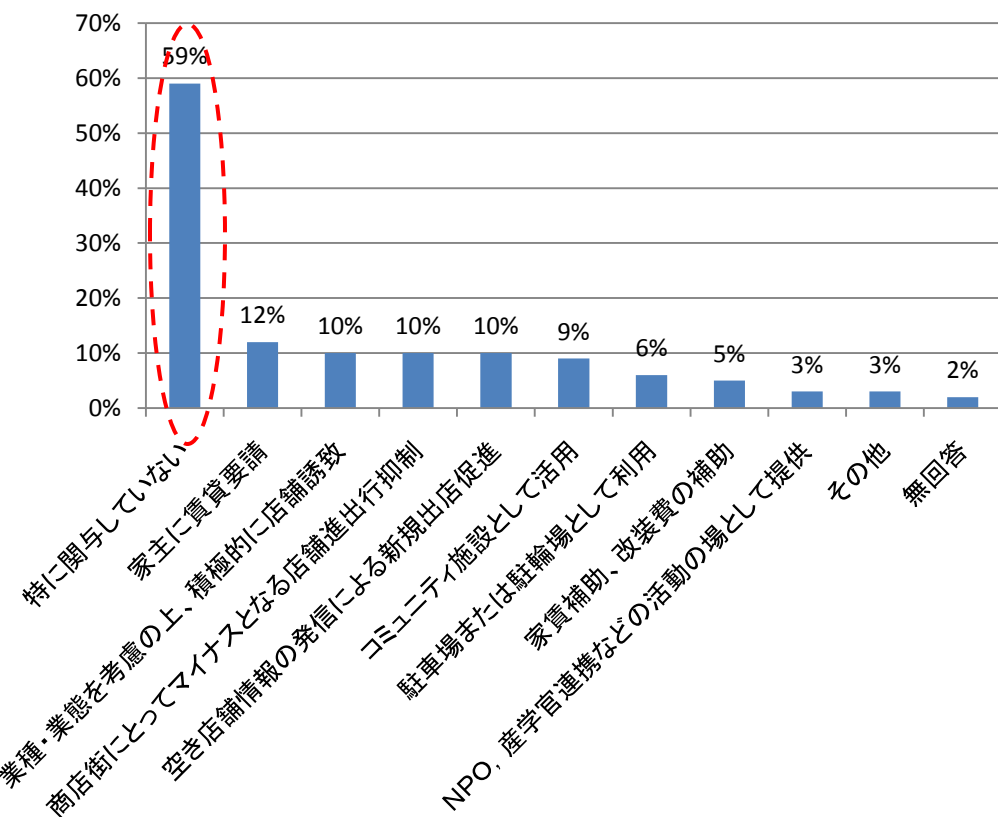


資料：商店街活力向上研究会アンケート

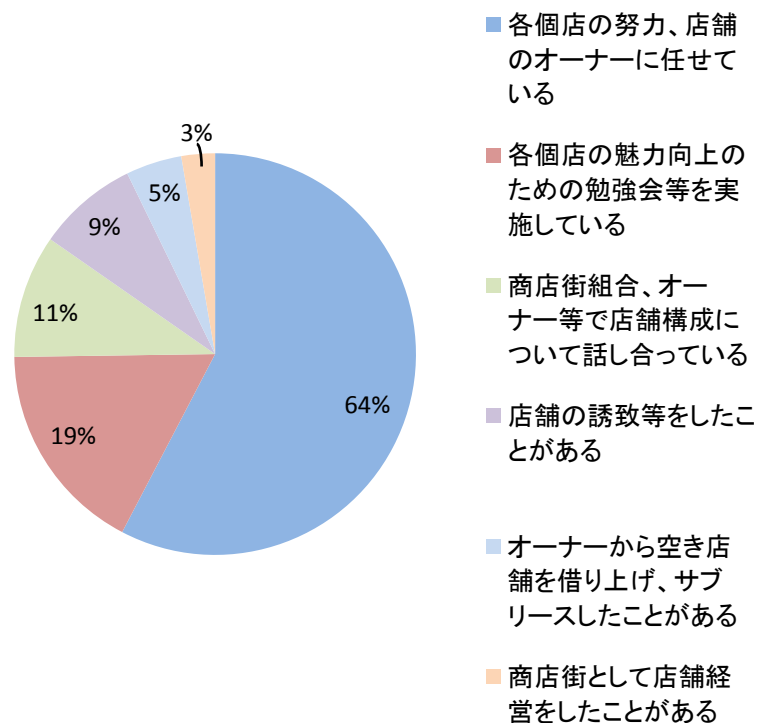
商店街活動② 空き店舗対策・魅力ある店舗づくり

- 空き店舗に関する取り組みとして、商店街として「特に関与していない」が6割。
- 魅力ある店舗づくりの為の取り組みも、「各個店の努力、店舗のオーナーに任せている」が64%である。

【空き店舗対策】



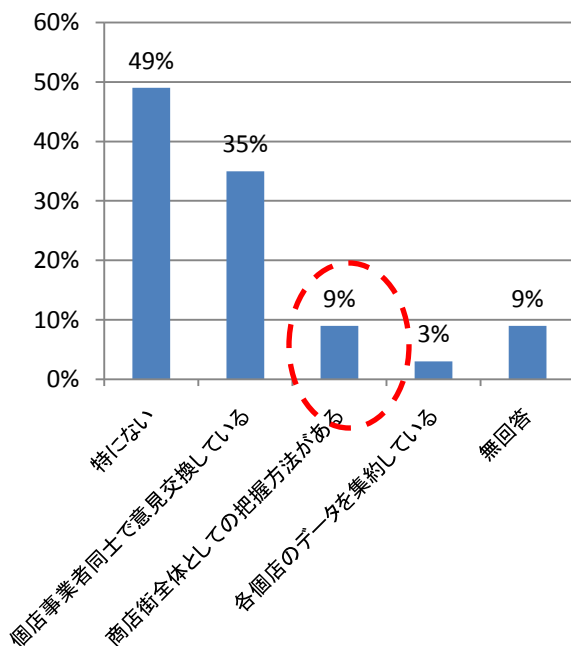
【魅力ある店舗づくりの為の取り組み】



商店街活動③ ニーズ把握・ビジョン策定

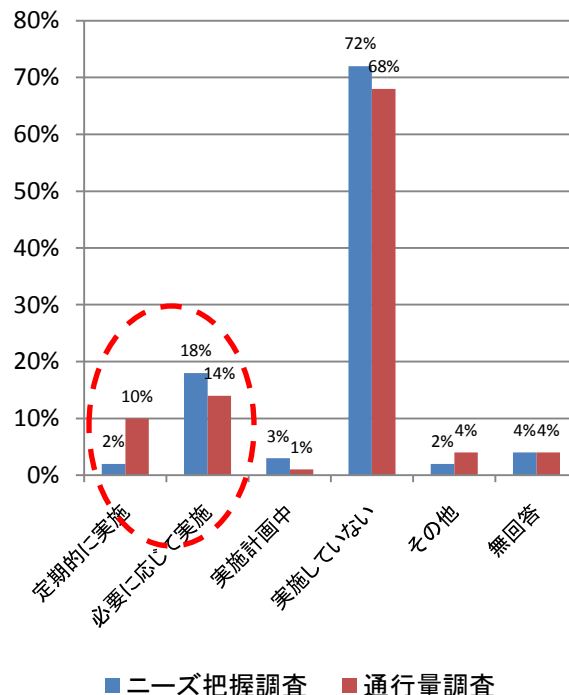
- 地域住民のニーズをしっかりと把握している商店街は、わずか9%。
- 来街者ニーズ調査と通行量調査を実施をしている商店街は、2割程度。
- ビジョン、計画の有無について、「明文化したものがある」という商店街は7%と少なく、「特にない」が65%存在、ビジョン、計画を持たない理由は、「組合員、会員の足並みが揃わない」、「時間がない、人手がない」との回答が多い。

【ニーズ把握の取り組み】



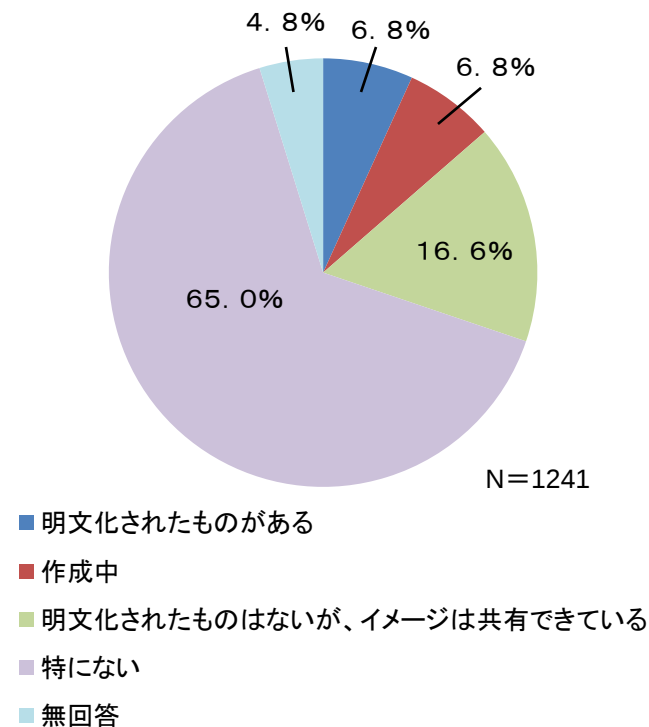
資料: 商店街活力向上研究会アンケート

【来街者ニーズ調査と通行量調査】



出典: 平成18年度商店街実態調査報告書

【ビジョン、計画の有無について】



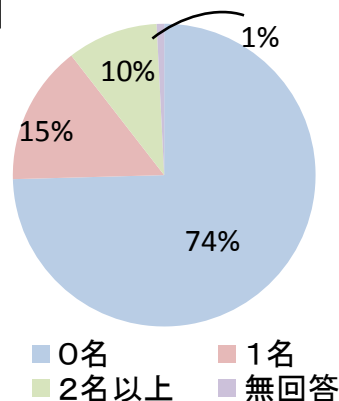
資料: 商店街活力向上研究会アンケート

商店街活動④ 体制

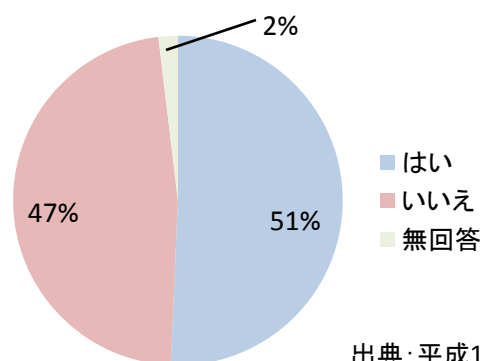
○専従事務局員がいない商店街は全体の約3／4を占めており、組合組織であっても1／2以上は専従事務局員がゼロ。また、半数の商店街では、次世代のリーダーとなる人材がいないとしている。

○地域コミュニティ活動の実施に当たっては、「自治・町内会」や、「商工会・商工会議所」、「他の商店街」や「市町村等の行政機関」等と連携している場合が多い。

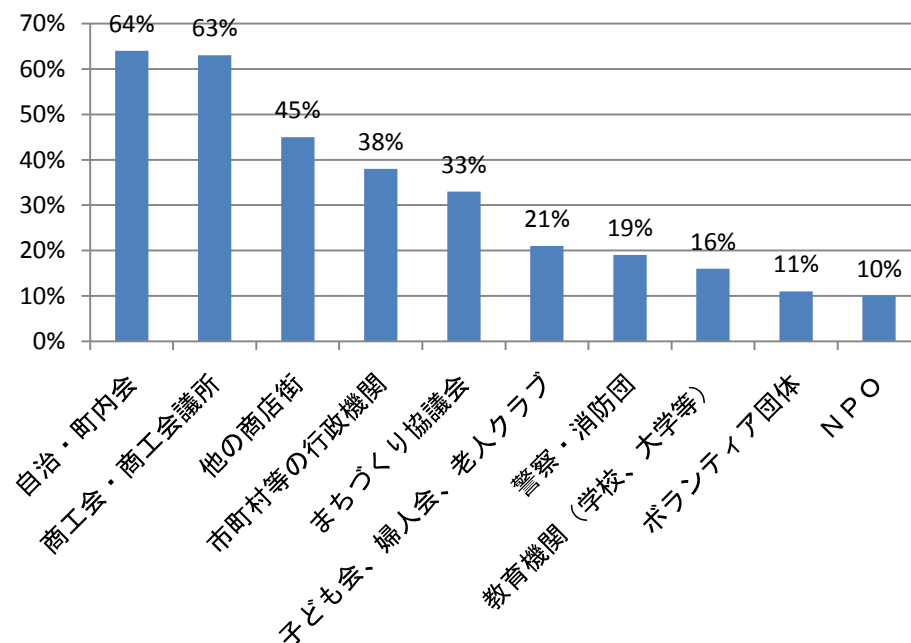
【事務局】



【次世代リーダー存在】



【連携して地域コミュニティ活動を行っている団体】



出典：平成18年度商店街実態調査報告書

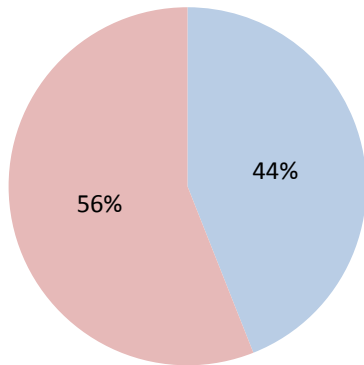
出典：平成18年度商店街実態調査報告書

3. 地域から商店街に対する期待

商店街への期待① 商業集積として

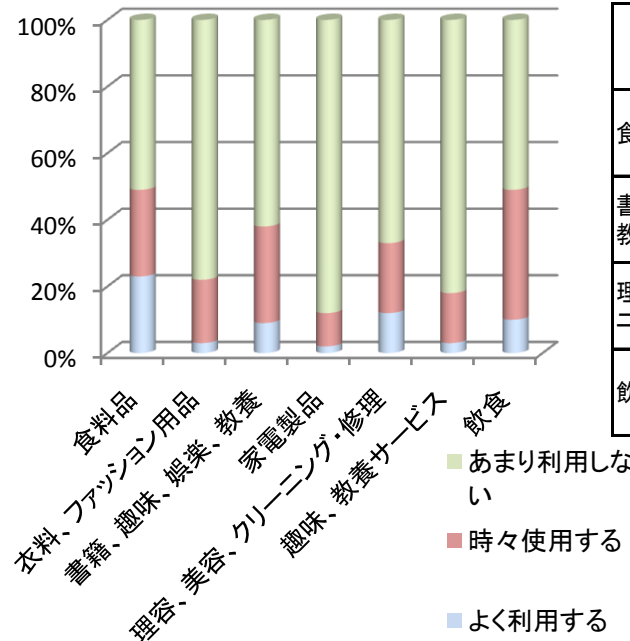
- 半分弱の消費者は日常的に商店街を利用している。
- 商店街でよく購入するのは食料品、書籍など。美美容やクリーニングなどのサービス、飲食の利用頻度が高い。
- 商店街を利用する最大の理由は距離の近さ。その他、価格の安さや品揃えも利用する理由として上位を占める。

【日頃利用する商店街の有無】



- 日頃利用する商店街はある
- 日頃利用する商店街はない

【品目別の利用】



【品目別の利用理由】

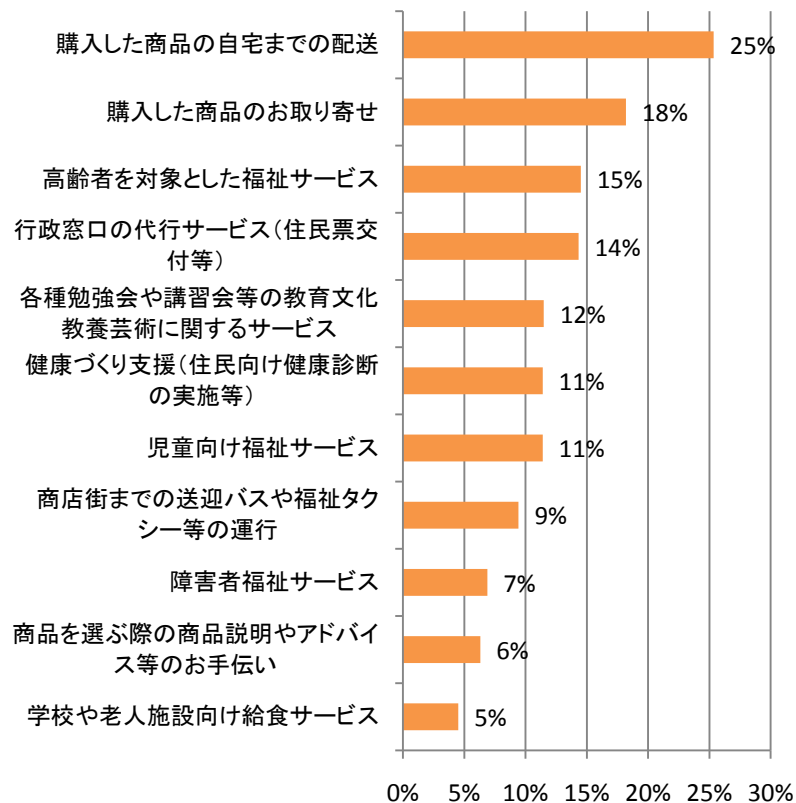
	1位	2位	3位
食料品	距離が近い	価格が安い	駐車場や駐輪場があり行きやすい
書籍、趣味、娯楽、教養	距離が近い	駐車場や駐輪場があり行きやすい	品揃えが豊富
理容・美容、クリーニング・修理	距離が近い	顔なじみで会話が楽しめる	価格が安い
飲食	距離が近い	品揃えが自分の好みに合っている	その商店街の居心地がいい

資料：商店街活力向上研究会アンケート結果

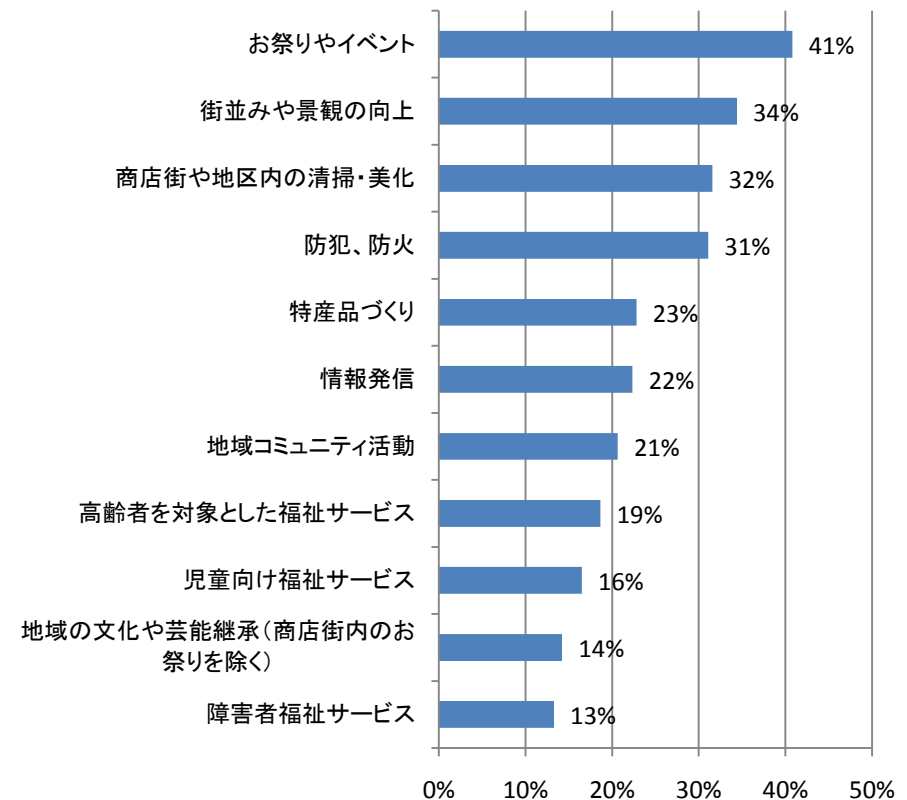
商店街への期待② 地域コミュニティ活動の主体として

○市民は商店街に対して、商品の宅配や取り寄せ、高齢者向け福祉サービスといった有料サービスと、お祭りやイベント、街並み・景観の向上、商店街清掃・美化、防犯・防火といった無料サービスを期待している。

【実施してほしいと思う有償・有料のサービス】



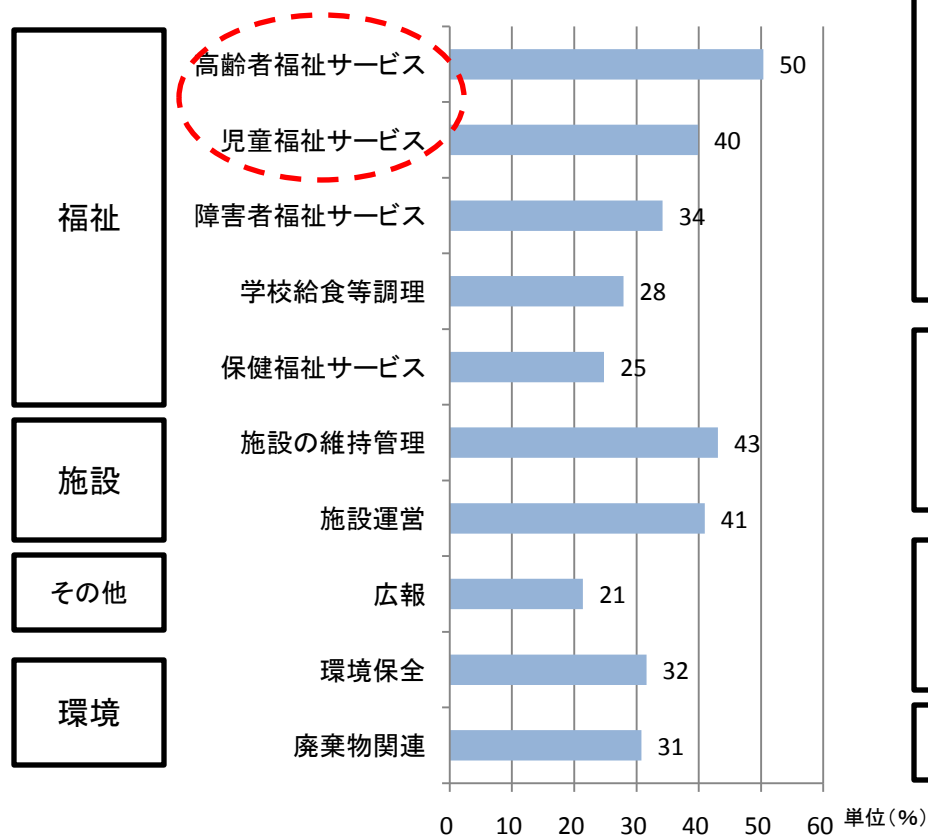
【実施してほしいと思う無償・無料のサービス】



商店街への期待③ 自治体からの期待

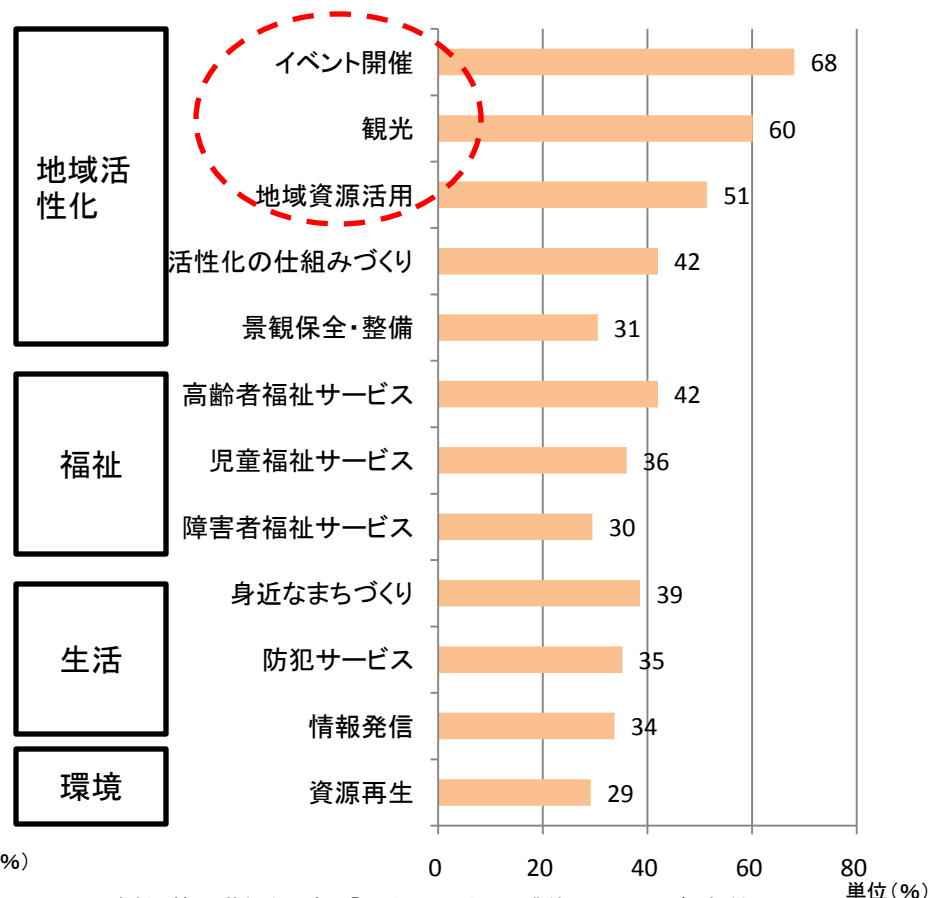
○商店街に対する自治体の期待としては、高齢者福祉分野やイベント開催、観光、地域資源活用等が大きい。

【自治体から商店街へ委託したい業務】



資料：(株)三菱総合研究所「地域における中小企業等と公共サービス提供にかかるアンケート調査」(2006年12月)
(注意)回答は複数回答

【自治体が商店街と連携して行いたい業務】



資料：(株)三菱総合研究所「地域における中小企業等と公共サービス提供にかかるアンケート調査」(2006年12月)
(注意)回答は複数回答